

特定非営利活動法人 K - Friends

地域資源：農林水産物（芋類、柑橘類、野菜）、恐竜
事業分野：食品、スポーツ、イベント、教育
事業主体：地元農業者・住民、町

○スポーツクラブが地元生産者から特産品を仕入れて加工・販売するとともに、スポーツと食を組み合わせたイベント等の開催を通じて、地域内外の交流を促進。

基本情報

- 所在地：徳島県勝浦町
- 選定表彰：
 - ・徳島県総合型地域スポーツクラブ協議会 貢献団体（R3）
 - ・徳島県地域貢献表彰 団体の部（R6）
 - ・第11回「ディスカバー農山漁村の宝」中国四国農政局選定 地方奨励賞（R6）
- 主力商品・イベント：
 - ・6次化商品（まんまいも、混ぜご飯の素、みかんジャム等）
 - ・恐竜運動会
 - ・かつうらみかん満喫ウォーキング
- 活用した支援施策：
 - ・勝浦町交流・食育事業（R6）

取組の概要

- 生涯スポーツの振興を行う総合型地域スポーツクラブが、健康づくりに欠かせない要素として「食」があるとの思いから、「スポーツ×食」の様々な取組を実施。
- 町の農産物加工施設の指定管理者受託を契機に、6次産業化の取組を開始。地元の生産者から仕入れた特産品（芋類、柑橘類、野菜）を、レトルト食品や混ぜご飯の素、ジャムに加工し、産直市や道の駅、空港等で販売。
- この地域で恐竜の化石が発見されたことに由来する「恐竜×食×スポーツ」のイベント、地域特産のみかんの「収穫体験×ウォーキング」のイベント、地域のファミリー層に向けた地域の食材を使った料理教室等を通じて地域内外の交流を促進。



恐竜の化石発見に由来するイベント「恐竜運動会」



地域特産の農産物を使用した「みかんジャム」と「まんまいも」



みかんの収穫体験ができる「かつうらみかん満喫ウォーキング」

体制図



取組の成果

- 6次産業商品開発・製造・販売：

35万円（R3）	→	350万円（R5）
----------	---	-----------
- 地産地消・食育・交流事業イベント：

10人（R3）	→	70人（R5）
---------	---	---------
- かつうらみかん満喫ウォーキングへの参加者数：

113人（R3）	→	140人（R5）
----------	---	----------

ウェブサイト▶<https://kfriends.info/>

小豆島町中山棚田協議会

地域資源：農林水産物、景観、文化
事業分野：食品、観光・旅行、イベント
事業主体：協議会、各地域団体、行政機関

○先人達が築き守り「日本の棚田百選」にも選ばれた美しい棚田と、棚田を中心に培われてきた文化・伝統を後世に残すため、協議会を設立。大学や企業と連携して、担い手の確保・農産物の販売・伝統行事への参加等を促進。

基本情報

- 所在地：香川県小豆島町
- 選定表彰：
 - ・令和4年度農林水産祭むらづくり部門 農林水産大臣賞
 - ・「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」に選定（R4）
- 主力商品・イベント：
 - ・棚田の景観
 - ・棚田米とその加工食品
 - ・伝統文化（中山農村歌舞伎、虫送り）
- 活用した支援施策：
 - ・中山間地域等直接支払
 - ・多面的機能支払制度（ほか）

取組の概要

- 担い手育成のための「棚田アカデミー」を実施するほか、大学生による耕作ボランティアの受け入れ、棚田耕作体験の支援、地域おこし協力隊の採用により棚田保全に取り組む。
- 収穫した米は、地元小中学校の給食、ホテルで提供するとともに、棚田米をふるさと納税返礼品として採用。また、地元酒造会社と連携し、棚田米を原料とした日本酒を販売。
- 重要有形民俗文化財でもある舞台上演される「中山農村歌舞伎」を伝承。途絶えていた伝統行事「虫送り」を復活。現代アートによる「瀬戸内国際芸術祭」にも協力。



棚田耕作体験（稲刈り）



棚田米を原料とした日本酒



伝統行事「虫送り」

体制図



取組の成果

- 中山千枚田（約12ha）に占める荒廃農地の解消：1.8ha(15%)（H24）⇒ 0.5ha(4%)（R3）
- 中山千枚田の担い手確保・保全のため「棚田アカデミー」を立ち上げ、1企業2個人が参加（R4）

ウェブサイト

▶ <https://www.town.shodoshima.lg.jp/gyousei/kakuka/norinsuisan/nougyou/5258.html>

○廃校となった小学校の活用方法の検討を契機に「自然、人、コミュニティの力」を理念とした協議会を起ち上げ、木材、ジビエ、空き家等、様々な地域資源を活用し、地域活性化、魅力発信に取り組む。

基本情報

- 所在地：香川県東かがわ市
- 選定表彰：
 - ・さぬきの棚田アワード（R3）
 - ・第5回「ディスカバー農山漁村の宝」中国四国農政局選定（H30）
 - ・全国地域づくり推進協議会会長賞（H18）
- 主力商品・イベント：
 - ・ジビエ
 - ・木材加工品
 - ・飲食店
 - ・宿泊体験
 - ・五名3大まつり
- 活用した支援施策：
 - ・地域創生推進交付金（H28～H30）
 - ・香川県里山資源活用推進事業（H27～R1）

取組の概要

- 里山整備に伴い発生する木材を、薪や炭などに加工して販売するとともに、獣害対策で捕獲したシカ、イノシシを食肉加工し、「五名ジビエ」として販売。
- 空き家となった古民家を移住者向けの体験宿泊所として運営するほか、五名マップの作製や子どもたちを対象とした体験イベント「五名で遊ぼう！」などを実施。
- 「五名ふるさとの家」をオープンさせ、地元の特産品を活かした産直カフェ運営により、地域の魅力を発信。



捕獲したイノシシの
食肉加工



里山整備に伴い発生する
木材の加工利用



産直カフェ
「五名ふるさとの家」

取組の成果

- 移住者数：17世帯37人（H25～R5）
- 里山整備によって得られる薪や炭及びイノシシ肉を活用したジビエ商品をふるさと納税の返礼品として活用。

移住世帯数の累計
（単位：世帯）



体制図

五名活性化協議会

五名連合
自治会

・自治会の連絡、調整

五名ふる
さとの家

・特産品等の販売
・交流の窓口
・カフェの運営

五名里山
を守る会

・里山の整備
・薪、炭の製造

五名山村
クラブ

・青年層による定例会や、ワークショップの実践

五名
女性部

・産直カフェ運営のサポート
・女性活躍促進

よりそって
五名

・高齢者への配食及び
・困りごと相談

ウェブサイト▶<https://www.gom-you.com>

○遠洋漁業の基地として栄えた「さぬき市津田地区」において、漁業体験を楽しめる農泊事業、漁業倉庫や空き家を活用したまちづくりの推進、移住支援等により、関係人口の創出を通じた持続可能な地域づくりに取り組む。

基本情報

- 所在地：香川県さぬき市
- 選定表彰：
 - ・第10回「ディスカバー農山漁村の宝」中国四国農政局選定（R5）
- 主力商品・イベント：
 - ・農泊、漁業体験
 - ・漁業倉庫及び空き家を利用した店舗
- 活用した支援施策：
 - ・農山漁村振興交付金（農泊推進対策）（R2）
 - ・地域づくり実践事業補助金（香川県、R5）
 - ・地域活性化支援事業（さぬき市、R5）

※上記の他、クラウドファンディングも活用

取組の概要

- 日帰り観光から宿泊型観光への転換を図るため、地域資源である「しらす」等を活用したメニューや、地引網や蛸壺漁等の漁業体験プログラムを開発。
- 協議会が使わなくなった漁業倉庫や空き家を調査し、新規出店希望者を誘致。地域おこし協力隊制度を活用した新規出店を募集。
- 自動車学校と連携し、自動車免許の合宿取得プランに、地域住民との交流や、まちづくりを学ぶカリキュラムを加えることで、中長期滞在者増加に貢献。
- 地域おこし協力隊員等に対して、協議会等が移住をサポートすることにより、令和4年度に新たに9名が市内に移住。



新規開店したお店



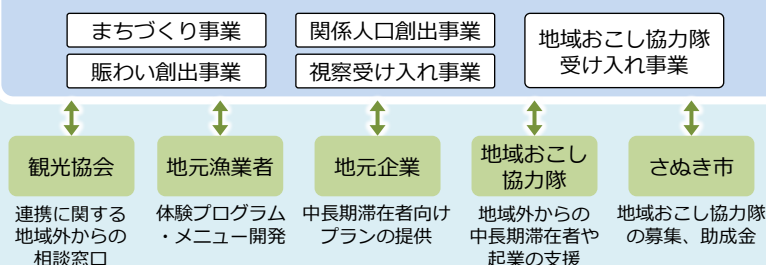
空き家を改装し活用



地域おこし協力隊最終選考

体制図

一般社団法人 さぬき市津田地区まちづくり協議会



取組の成果

- 取組後の新規出店数：0店舗（R4）→ 6店舗（R5）
- 宿泊施設新規開店数：4棟（R4）→ 8棟（R5）
- 長期滞在受入数：30人（R4）→ 40名（R5）
- 移住者数：9人（R4）

ウェブサイト▶<https://sanuki-tsuda.jp>

島ヶ峰の原風景を守る会

地域資源：農林水産物、景観(棚田、そばの花)、廃校
 事業分野：食品、観光・旅行、芸術、アウトドア、イベント
 事業主体：行政、生産者団体、地域住民

○過疎高齢化の急速な進行により荒廃していた農地をそばの栽培を通じて再生。原風景や食文化を次世代に残していくため、グリーン・ツーリズム体験やフォトコンテスト等のイベント開催により、地域の活性化を図る。

基本情報

- 所在地：香川県まんのう町
- 選定表彰：
 - ・農業農村整備事業広報大賞（R3）
 - ・第8回「ディスカバー農山漁村の宝」中国四国農政局奨励賞（R3）
 - ・さぬきの棚田アワード（R3）
- 主力商品・イベント：
 - ・そば栽培体験、そば打ち体験
 - ・そば粉、干しそば
 - ・花見会（そばの花）
 - ・フォトコンテスト
- 活用した支援施策：
 - ・農山漁村振興交付金(山村活性化対策事業)（R3～R5）

取組の概要

- 標高900mに位置し、寒暖差が大きくそば栽培に適した天空の地「島ヶ峰」において、平成28年にまんのうそば生産振興会が荒廃農地を開墾し、平成29年にそば栽培をスタート。
- そばの花が咲く9月には、「そばの花見会」を開催し、そばを振る舞うイベントを実施するとともに天下泰平や五穀豊穡を願った獅子舞を披露。
- 廃校（旧琴南中学校）の家庭科室をリノベーションし、令和4年に「そば処 島ヶ峰そば」をオープン。
- グリーン・ツーリズム事業として、そばの栽培体験やそば打ち体験を実施するとともに、令和5年度からは「島ヶ峰そばフォトコンテスト」を開催し、関係人口創出に努める。



再生した棚田

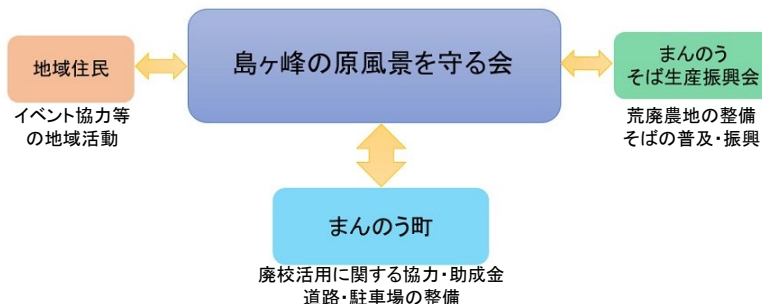


棚田で咲くそばの花



そば処 島ヶ峰そば

体制図



取組の成果

- 荒廃農地再生面積：0.3ha（H28）→ 5.4ha（R5）
- 棚田作物（そば）販売額：141千円（H29）→ 4,360千円（R5）
- グリーン・ツーリズム体験者数：195人（H28）→ 319人（R5）

ウェブサイト▶<https://mannou.jp/shimagaminesoba/>